フェリーさんふらわあ 志布志ー大阪航路に新造船「さつま」を投入

「株式会社フェリーさんふらわあ」は、志布志ー大阪航路に５月１５日から新造船「さんふらわあ　さつま」を就航させました。翌１６日には「鹿児島県志布志・大阪航路利用促進協議会」と「さんふらわあ志布志航路利用促進協議会」共催の記念セレモニーが同フェリー旅客待合所で開催され、三反園訓鹿児島県知事や下平晴行志布志市長をはじめ周辺自治体、港湾関連企業及び国の関係者が多数参列し、約２５年ぶりとなる新造船の就航を祝いました。

新造船は、総トン数が従来船の１２，４１５トンから１３，６５９トンへ大型化されており、積載車両数の増強など輸送能力の向上はもちろんですが、「カジュアルクルーズ」をコンセプトにした船内設備充実などの旅客サービス向上も図られています。旅客定員を減らす代わりにシャワー・トイレを完備した個室を増やし、同社では初めてとなる最上級グレードのスイートルームの新設などと併せて、一番安価な大部屋のツーリストクラスでも一人ひとりのスペースに仕切カーテンや電源コンセントを設置するなどして、快適性の向上が図られています。

今年の夏には、「さんふらわあ　きりしま」の新造船就航も予定されており、新造船２隻体制による物流・人流のますますの活性化が期待されます。

セレモニーでの発言要旨

○三反園知事

大阪航路は、県の長距離物流の基幹ルートであり、観光やスポーツ振興にも欠かせない。県の農林水産振興や交流促進に期待する。

○下平志布志市長

新造船就航は（株）フェリーさんふらわあの経営努力と協議会などの関係者の協力の賜。大阪航路は志布志市にとって無くてはならない存在である。

○井垣社長（株式会社フェリーさんふらわあ）

今夏予定の新造船「きりしま」の就航と併せて、地元の活性化に貢献したい。

新造船の概要	
総トン数	13，659トン
全　長	192m
全　幅	27m
航海速力	23ノット
旅客定員	709名
積載車両数	大型トラック　121台 乗用車　134台
建　造　所	JMU磯子工場

セレモニーの模様（くす玉開披）

志布志港に入港した新造船「さつま」